

飛躍

HIYAKU

第258号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2007年9月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・杉一郎

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body vigorous in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

TOP*NEWS

高輪キャンパスに情報通信学部開設

高輪キャンパスから世界へ

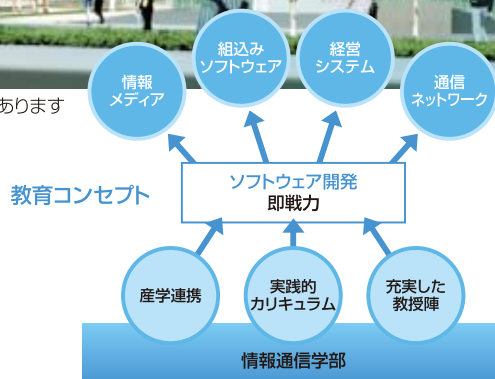
中学・高校・大学・大学院の一貫教育が実現



高輪キャンパス新校舎(2010年完成予定) ※外観・形状等変更される場合があります

2008年4月、IT最先端エリアとして情報通信教育の新拠点が高輪に誕生します。この新学部は、産業界との密なる連携をもとに「実際の開発現場で今、何が求められているか」をベースとした実践的なカリキュラムを通して、卒業後すぐに実践で役立つソフトウェア開発技術を修得します。

IT先進エリアである品川に隣接した高輪というキャンパスロケーションを最大限に生かした産学連携型教育を実践します。情報通信技術のみならず、幅広い社会常識や問題解決型の思考力、技術者としての倫理観、そして語学力なども重視しています。国際舞台を含む現実のビジネスシーンに対応できる英語運用やプレゼンテーション、コミュニケーション能力の養成に力を入れている点も特色です。



今、最も人材不足が叫ばれている情報メディア・組込みソフトウェア・経営システム・通信ネットワークの4領域にターゲットを絞り、それぞれのソフトウェア開発技術に特化した教育・研究を実践し、即戦力として産業界で活躍できる人材の育成を目指します。

情報通信学部4学科の特色

組み込みソフトウェア工学科


自動車、ゲーム機器、家電製品の機能を実現するソフトの開発



トヨタ ソニー 松下
東芝 シャープ キヤノン など

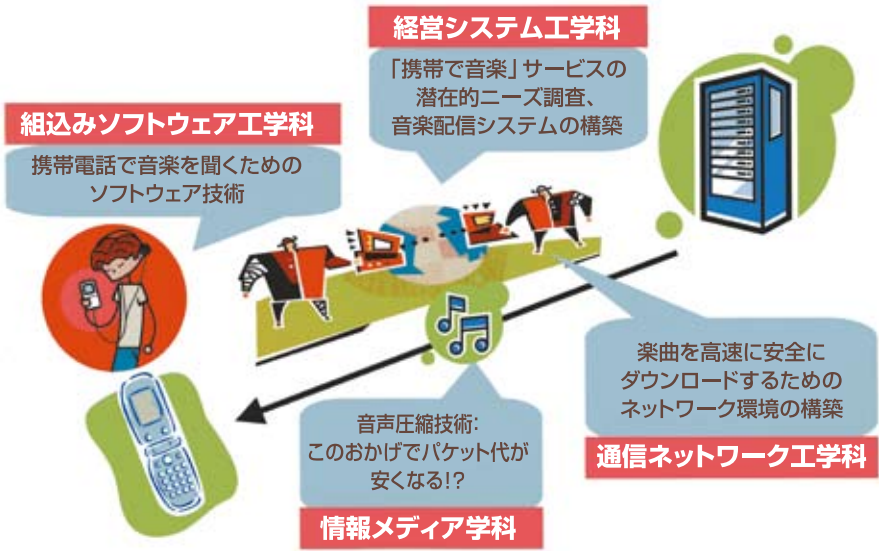
経営システム工学科

企業などの大規模情報システムの設計・開発、経営情報マネジメント



日本IBM 日本ユニシス
富士通 CSK など

携帯電話を例にした各学科の関係



情報メディア学科

家電、ゲーム、医療機器のマルチメディア処理(画像、音声など)の開発



ソニー 松下 シャープ
キヤノン ニコン など

通信ネットワーク工学科

宇宙空間、企業、自動車内部などあらゆる通信・ネットワークの設計開発



NEC 日立 東芝
三菱電機 沖電気 など

●3年生の状況

特別推薦制度の一環として本校からは45名の生徒(情報メディア学科:15名、組み込みソフトウェア工学科9名、経営システム工学科14名、通信ネットワーク工学科7名)が進学予定者として内定を受けました。7/21には、本校の45名を含む約170名の生徒とその保護者に説明会が行われ、情報通信学部の意義や目指すと

ころ、各学科の特色などが話された後、個別相談が実施されました。夏休み中に取り組む全学科共通の英語の課題や各学科ごとの課題、その後に取り組むことなどについて、質疑を受けながら具体的な指導が一人ひとりに行われました。新学部学科への進学に向かって、着実に取り組んでいます。

2007年度学校運営方針③

授業改革や知的財産教育への積極的な取り組みを推進する。

本校では、教職員がつねに生徒の視線に立って、教育改革を推し進めるとともに、教員のスキルアップを図り、魅力ある授業を実現しています。他に先駆けて生徒による授業評価アンケートを導入し、生徒、保護者、同僚教員の選考によるベストティーチャーの表彰も行ってきました。今後もさらに授業改革を推進し、生徒参加型・問題発見解決型の授業をめざします。

科学や技術を創造する 個性あふれた人材の育成・教育を目指して

資源の乏しいわが国は、「科学技術創造立国」または「知的財産立国」を実現することによって、平和で個性あふれる豊かな国づくりに積極的に取り組んでいます。そのために、科学や技術を創造する個性あふれた人材の育成・教育が求められています。本校では、東海大学との連携のもとで、「知的財産教育推進委員会」が中心となり、「高校現代文明論」「ホームルーム」の時間を活用する他、学園オリンピックの「知財部門」への生徒の積極的参加を促し、「知的財産教育」を推進していきます。

ちなみに、今年度は1年6組の戸張 翔太くん、3年4組の高橋 勝真君が、予選を突破し、孺恋高原研修センターで実施される「学園オリンピック夏季セミナー」に参加いたしました。

- 第1学年：高校現代文明論の中で、4時間を使って、「経済活動におけるモラル」と題して「知的財産権とは何か」を学びます。
- 第2・第3学年：ホームルーム活動を使って、「知的財産の創造」を学びます。
- 建学祭で「建学祭知財グランプリ」賞を設定し、もっとも独創性と主体性が発揮された展示団体を表彰します。

学園行事への積極的な参加を促す。

学園オリンピック(国語・数学・理科・英語・造形・音楽・知的財産・ディベート)、ヨーロッパ研修旅行など、学園行事に対する広報活動と、丁寧な指導を行います。

なお、学園オリンピックについては、今年度文化部門に関しては、中等部1名を含む23名が、スポーツ部門には175名が参加いたしました。

学年の様子

中等部 1学年

中間試験明けの6月・7月は、学校生活にも慣れ友達の輪が広がり、ひとりひとりの個性が光りだしてきた時期だったと言えます。クラスの中で皆を笑わせ、クラスの雰囲気をも明るくしてくれる生徒や、いつもコツコツと努力をして皆から厚い信頼を得ている生徒など。そんな個性一杯の教室の中で、いろいろな人とのかわり方を学び、人間的幅を広げている感じがします。

学校行事では、東海大学湘南校舎を利用した水泳実習がありました。初心者には浅めのプールで実習をし、中級者以上は水深2メートルある最新の設備が整ったプールを利用しての実習となりました。いくら泳ぎがある程度できるとはいえ、水深2メートルで大丈夫だろうかと思っていました。こちらの心配をよそに、生徒たちはとても楽しく泳いでいました。



3年スポーツ大会

初心者も含め、実習後の全員の感想は「楽しかった」の一言。こうした感想が聞けた大きな理由の一つは豪華メンバーが指導についたことにあります。実習の中心的指導をしてくれたのが、東海大学水泳部のみなさん。全国大会1位の栄冠に輝く部員をはじめとしたバリバリのスイマーたちが、楽しく丁寧に指導してくれたので、生徒たちの上達も早かったようです。

高校 1学年

6月30日(土)、さいたま総合グラウンドにて第1学年のスポーツ大会が行われました。初めて総合グラウンドを訪れる生徒も多く、到着直後、グラウンドの広さに圧倒されていました。雨が心配されましたが、生徒たちの熱い思いが通じたのか無事に全競技行うことができました。皆が一生懸命競技に参加し、また、プログラムを確認してグラウンドをあち

こちと走り回り、クラスメイトの応援に精を出していました。今回のスポーツ大会によって、男女間の隔たりがなくなりクラスの団結が強くなったように感じられます。メインイベントである最終競技の直線リレーはとても盛り上がりました。順位に関係なくそこにいるすべての生徒が大きな声、大きな拍手で声援を送り、1学年全体が一丸となりスポーツ大会の幕を下ろすことができました。

高校 2学年

2年生の、いや高校3年間の最大行事である「研修旅行」が6月25日(月)から6日間の日程で、オーストラリア研修コース113名、オーストラリアホームステイコース69名、ハワイ研修コース92名、ハワイホームステイコース38名、北海道コース61名、沖縄コース145名で実施されました。誌面の都合で、それぞれのコースを詳述せず先を急がなければなりません。各コースとも概ね天候に恵まれ、大きな病気や怪我もなく6日間を過ごすことができた生徒たちの笑顔に出会えたことがいちばん喜ばしいことでした。はたして、この「研修旅行」が生徒一人ひとりの心のアルバムに何を残したのでありましょう。

次に、研修旅行初引率の先生方の感想を紹介します。
○コアラなどの動物を見たり、現地の高校生と楽しんでいる生徒たちの姿に癒されました。(金恵潤・オーストラリア

研修コース)

- オーストラリアの大自然に触れ、歴史に触れ、人の優しさに触れた素敵な旅行でした。(石井みなみ・オーストラリアホームステイコース)
- 初めての引率は疲れましたが、生徒たちの新たな一面の発見など得るものも多くありました。(山田武範・ハワイ研修コース)
- ハワイの青空の下、ダイヤモンド・ヘッド登山などを体験する生徒の姿が印象的でした。(鈴木彩子・ハワイホームステイコース)
- 礼儀正しく、10分前行動のできる北海道研修旅行チーム。生徒のすばらしさに感動しました。(江川晶子・北海道コース)
- 6日間の研修旅行、沖縄コースの皆さんと素晴らしい思い出をつくることができました。(稲葉哲之介・沖縄コース)

高校 3学年

6月28日(木)にさいたま総合グラウンドにて、第3学年のスポーツ大会が行われました。この日は晴天に恵まれ、2年連続の中止は免れ安心しましたが、逆に天気が良いすぎて気温が高くなってしまい、熱中症が続発しないかが心配でした。

そんな中、生徒はどのクラスも一生懸命競技し、一生懸命仲間を応援して楽しんでいました。スポーツ大会は勝負に関係なく、クラス・学年の結束力や交流を深め、楽しかったという思い出を作ることが何よりの収穫だと思うので、今回も大成功に終わったのではないかと思います。

結果(1位・2位・3位の順)の方は、総合で6組・8組・2組、種目別にはソフトボール2組・6組・8組、キックベース5組・6組・3組、女子サッカー6組・8組・5組、男子サッカー1組・8組・2組でした。また、優勝した2組とソフトボールで対決した教員ドリームチームでしたが、ハンデ付きの手加減をしてくれる優しさをいただきながら、完膚なきままに敗れ、ドリームでも何でもなかったことがはっきりと分かりました。

我々教員も生徒とゲームをして楽しみ、生徒が楽しんでいる姿を見て楽しめました。皆さんありがとうございました。

第39回 剛健旅行 1,352名参加 完歩率97.4%

7月17日、嬭恋村の青々と広がるキャベツ畑が今年も私たちを迎えてくれました。今年は中等部を加えての剛健旅行となりました。中等部の生徒には過酷すぎるのではないかと心配をよそに参加83名全員が完歩しました。高校男子は強い雨に打たれながらも、友達と励まし合いゴールを目指しました。

「なぜ歩くのか」このような疑問を抱いた生徒諸君も多いかと思います。その答えは「なぜ人生を生きるのか」という問いに通じるものだと思います。1・2年生は来年度、人生と剛健旅行を重ね合わせて歩いてみてはいかがでしょうか。

結果発表

高校男子トップ10 (41.2km)

- 1位 3年 4組 鈴木 勝利 (3時間57分)
- 2位 3年 2組 村井 雄飛
- 3位 3年 3組 斉藤 健嗣
- 4位 3年 3組 鈴木 亮祐
- 5位 3年 1組 杉浦 隆広
- 6位 3年 6組 西田 健太
- 7位 3年 9組 佐藤 弘幸
- 8位 2年 6組 青山 侑裕
- 9位 1年 1組 細野 洋平
- 10位 3年 1組 加藤 智

高校女子トップ10 (23.9km)

- 1位 1年 6組 都築 幸未 (2時間47分)
- 2位 3年 5組 東条 有紗
- 3位 2年 11組 和田うらら
- 4位 3年 4組 辻 美奈子
- 5位 3年 3組 加藤真梨子
- 6位 2年 10組 村松 春香
- 7位 2年 6組 藤沢奈津美
- 8位 2年 8組 山岸 千紘
- 9位 1年 7組 池田 瞳美
- 10位 3年 8組 三橋 有沙

中等部トップ10 (12.7km)

- 1位 1年 A組 高橋 優輔 (1時間53分)
- 2位 1年 B組 加崎 祐也
- 3位 1年 B組 荒木 淳
- 4位 1年 A組 中山 裕之
- 5位 1年 A組 青木 昂
- 6位 1年 B組 岸浪 駿人
- 7位 1年 A組 北郷 翼
- 8位 1年 A組 新津 壘
- 9位 1年 A組 村上 来地
- 10位 1年 A組 上村 圭太

勝利

鈴木 勝利

3年4組 目黒区立第九中学校出身

僕は剛健旅行の前日、1位を獲ることだけを考えていました。そして、自分自身がどのくらいやれるのか、自分を試す良い機会だと思っていました。

そして当日、スタート直後の林道はとても走りづらく、何度も足をくじいてしまいそうになりました。林道を抜けた時点での順位は大体10位ぐらいで、十分1位を狙える範囲内でした。しばらく進

むうちに坂が急になり、体力的には余裕がありましたが、足が辛くなってきて「やめたい」という思いが何度も頭をよぎりました。しかし、ここでやめてしまうのはもったいないし、「自分の力はこの程度なのか」と自問すると悔しさから足が前へ前へ出てきて、いつのまにか先頭にいました。そこからは、ただ前だけを見てゴールを目指しました。そして1位になることができました。

この剛健旅行は自分自身との戦いであり、体力よりも気持ち次第で走ることができるし、順位を上げることができるということを学びました。1, 2年生は来年度、自分の限界に挑戦してみてください。



夏休みの活動報告



もうひとつの甲子園

ディベート研究同好会 大久保 翔太
3年7組 板橋区立志村第四中学校出身

今回「ディベート甲子園」に出場したチームはこの3月にできたばかりでした。3年生は私1人だけ、残り4人は2年生の初心者です。関東甲信越予選での目標は、とにかく1勝をあげる事でしたが、気がつくと関東甲信越予選第1ラウンドで早々と全国大会出場を決めていました。



8月4日から6日まで東洋大学で開かれた全国大会では伝統の強豪校がひしめいており、32校中初出場は本校を含め3校しかありませんでした。わがチームは苦戦を強いられながらも、予選リーグから決勝トーナメントに進出、ベスト8入りを果たしましたが、準決勝進出は逃しました。そのあと、準々決勝で敗れた4校（開成・女子聖学院・昭和薬科大附属・本校）の間で行われた「即興ディベート」（今年度より新設）に出場しました。試合の1時間前に論題が発表され、缶詰状態で作戦を練るといってこれまで経験したことのない試合形式でしかも大ホールの大観衆の前で戸惑いもありましたが、試合を楽しむことができ、決勝戦に進出し優勝を果たすことができました。

応援、ありがとうございました。現在1年生の部員がいまません。是非、後輩たちが続いてくれることを期待します。

都ベスト32 あきらめない野球

野球部主将 川村 健太

3年6組 大田区立東調布中学校出身

試合結果

- 1回戦 対 都立荒川工 14-0
- 2回戦 対 日本学園 5-4
- 3回戦 対 明大明治 12-2
- 4回戦 対 都立広尾 2-5

私たち3年生にとって最後の大会でした。2回戦の対日本学園戦。先制したものの、逆転を許し1-4のまま9回裏の攻撃。3点差、しかしベンチからは、「ここからだ!! いけるぞ!!」・・・誰一人あきらめていませんでした。3年生の代打攻勢でヒット4本を集中させ同点。そして延長戦へ突入し迎えた11回裏、無死3塁から犠牲フライでサヨナラ勝ち。試合後、応援に来てくださった方から「感動した」友人からは「初めて野球が面白いと思った」など、色々な声を頂きました。私は、多くの方が感動する試合ができたことを嬉しく思います。4回戦で敗れましたが、最高の仲間と野球ができたことを誇りに思います。



遠くまで応援に来てくださった方々、応援の中心となってくれたダンス部、吹奏楽部の皆さん、ありがとうございました。そして私たちが精一杯野球に取り組める環境を整えてくださっている学校、野球を通して皆さんのことを学ばせてくださった監督、コーチ、常に私たちを支えてくれた父母の方々に感謝しています。ありがとうございました。

関東私学大会を終えて

男子バレーボール部部长 島田 真吾

3年1組 川口市立青木中学校出身



6月のインターハイ予選で敗れ、引退というときに関東私学大会のお誘いをいただきました。また皆でバレーボールのできる素晴らしいチャンスをいただき本当に嬉しかった

です。それから約1カ月間、これまで以上に練習に身が入るようになり、自分たちが成長していくのがわかりました。一回戦の三浦高校戦はフルセットの末敗れました。持てる力を出しても勝つことができなかったのが本当に悔しかったです。残りの二試合は自分たちのバレーができました。皆生き生きプレーできたのでとても楽しかったです。悔いを残すことなく大会を終ることができたことは素晴らしい事であり、三年間バレーボールをやってきてよかったと思いました。今まで指導して下さった顧問の先生方、また応援して下さいました保護者の方々、友達には本当に感謝しています。3年生7人の意志は次の代に伝わったと思います！これからも男子バレーボール部をよろしく願います。

SSH夏休み活動報告

7月21日から3泊4日で、1年SSHクラス48名が科学体験学習旅行をしました。見学先は静岡県の東海大学開発工学部沼津校舎、愛知県のトヨタ産業技術記念館、岐阜県の瑞浪市化石博物館・核融合科学研究所、長野県の養命酒麹ヶ根工場です。化石採取から最先端の科学技術まで幅広く、体験・学習してきました。

血液型の特定と適合性の実験

遠藤 みずき

1年9組 板橋区立高島第一中学校出身

初めての科学体験学習旅行は何もかもが興味深く、とても楽しいものでした。中でも、東海大学開発工学部医用生体工学科で体験した血液型の特定と適合性の実験には、ワクワクする胸の高鳴りを覚えました。血液型の特定には、血清を使い凝固するか否かで判断します。血液型の中には世界中でも数人から数十人しかいない珍しい型も存在します。又、輸血によって本来持っていない抗体が出来た為、更なる輸血が出来ない人や原因不明ながら血液型が変化してしまった人もいます。簡単に考えていた血液型の特定でしたが、命にかかわる輸血時の適合の事を考えると、身が引き締まる思いがしました。その後、人工心肺の操作もさせてもらい、命の現場のほんの小さな一部分ではありましたが、それに触れる事が出来た様な気がして、緊張と将来への期待が胸にせまってきた体験でした。



手術用の服を着て実験

未来につながる先端技術

新井 利宗

1年9組 江東区立深川第三中学校出身

私は、今回初めて宿泊を伴うSSH活動を体験してきました。どの見学施設に行っても興味をそそる展示物があり、自分の知識を深めることができました。

今回の旅行で一番興味を持ったのは、「核融合科学研究所」でした。この場所は、優れた人材が集まり、太陽のような莫大なエネルギーをつくりだす研究がすすめられています。今、地球上に存在するエネルギーを生み出す化石燃料には限りがあります。また、世界中の人口は増え続けています。これからエネルギーの消費量が増え、いずれエネルギーが失われてしまいます。こんな未来になるのを防ぐため、この研究所ではエネルギーを生み出す研究がおこなわれているのです。おそらく、この研究の成果が出るのは何年も先のこともかもしれませんが、この研究をしている研究者の方々に感謝する日が必ず来ると思います。

今回のSSH活動を通して様々なことを学びました。これからの未来へつながる先端の技術を学ぶことができ、本当にうれしく思います。



科学者から先端技術の講義

科学体験旅行に2年生として参加して

高橋 進

2年11組 横浜市立橋中学校出身

僕は、1年生のアシスタントとして参加しました。昨年とは違った視点で見学し、体験することが出来ました。

三日目の夜に、今まで学んできたまとめをグループでプレゼンテーションをしました。僕たち2年生は各グループを回りながら1年生にどのようにプレゼンテーションを構成したらいいかをアドバイスしました。僕たち2年生もグループでのプレゼンテーションは初めてで、最初どうなるか不安でしたが、僕たち2年生がアドバイスしたことを元にグループで協力し、短い時間の中で内容や役割を決めていました。短時間の中での1年生の吸収力には非常に驚かされました。実際に発表するときに、我先に発表しようとする積極的な姿勢には逆に学ばされました。

今回の旅行では、昨年よりもより科学技術を身近に感じる事が出来ました。また、1年生と交流し、リードすることができた体験は僕にとって非常に充実したものとなりました。



人に伝える難しさも学びました

第二回 高輪カップ 開催

参加20校・参加選手270名 熱き戦いが本校アリーナで

昨年に引き続き今年も5月13日の男子バレーボールを皮切りに「第二回高輪カップ」が本校アリーナにて開催されました。台風の影響を受け、卓球の部は中止となってしまいましたが、7月16日に女子バスケットボールが行われました。今後、男子バスケットボールも開催される予定です。中学生の競技レベルの向上と各中学校の部員間の交流を図る目的で創設された「高輪カップ」、第一回大会を上回るハイレベルな戦いが繰り広げられています。

男子バレーボールの部

優勝	足立区立第九中学校
準優勝	大田区立大森第二中学校
3位	川崎市立宮内中学校

参加校

- | | | |
|------------|-------------|------------|
| 目黒区立東山中学校 | 大田区立矢口中学校 | 川崎市立大師中学校 |
| 足立区立第九中学校 | 大田区立大森第二中学校 | 川崎市立富士見中学校 |
| 足立区立蒲原中学校 | 大田区立東調布中学校 | 川崎市立西高津中学校 |
| 足立区立東綾瀬中学校 | 三鷹市立第一中学校 | 川崎市立宮内中学校 |

監督 田中 正行

今年の高輪カップは東京都だけでなく、川崎市の中学校にもご参加いただき、昨年を上回る12校で実施することができました。今大会より試合形式を変え、午前中の予選リーグを勝ち抜いたチームは決勝トーナメント、その他のチームはチャレンジマッチ(敗者トーナメント)を行い、それぞれで白熱した試合が繰り広げられました。どのチームの選手も中学生らしく、一生懸命プレーしている姿が印象的でした。試合の合間に熱心に練習をしたり、監督の先生の話真剣に聞いたり、大きな声で応援をしたりする姿を見て、これからも彼らがバレーボールを続けていってほしいと思いました。今後の各チームの健闘をお祈りしています。



女子バスケットボールの部

優勝	目黒区立烏山中学校
準優勝	足立区立第九中学校
3位	大田区立蓮沼中学校 目黒区立第七中学校

参加校

- | | | |
|-----------|-------------|-----------|
| 目黒区立烏山中学校 | 足立区立栗島中学校 | 墨田区立本所中学校 |
| 目黒区立第七中学校 | 大田区立蓮沼中学校 | 中央区立銀座中学校 |
| 足立区立第九中学校 | 板橋区立高島第一中学校 | |

監督 高橋 佑未子



台風4号の接近で大会の開催が危ぶまれた第二回大会でしたが、参加中学校8校の生徒たちは最後のホイッスルが鳴るまで決して諦めることなく、全力でプレーをしてくれました。特に、決勝トーナメントの3試合では、選手・顧問・保護者が一体となって大変盛り上がりました。

第二回大会を終え、高校生は『声を出す大切さ』や『最後まで一生懸命ディフェンスをすること』の大切さを再認識できました。『試合にかつこと』が重要視される世の中ですが、今大会に出場した生徒一人一人が、バスケットボールを通して、周囲への感謝の気持ちや努力を続けることの大切さを学んでくれれば幸いです。

中等部のコーナー

中等部 水泳実習

年2回行われる水泳実習の第一回目が7月14日に行われました。場所は東海大学湘南校舎にある屋内プール。想像以上に広くて深いプール、そして一流の指導員の方々に指導していただき、生徒たちは非常に興奮していました。水泳実習と東海大学見学を男女入れ替えで行いました。東海大学創設の起源を学ぶことのできる松前記念館や陸上の末續選手など日本を代表する選手も練習しているトレーニングルームなどを見学し、キャンパスの広さと施設の充実さに驚きを隠せない様子でした。

残念ながら天候には恵まれませんでした。生徒たちはこれまで見せたことがないほどの笑顔で水泳実習を行い、東海大学を見学するその目は真剣そのものでした。

高林 大樹

1年B組 横浜市立初音が丘小学校出身

僕は小学生の頃から水泳が嫌いでした。ですから、小学校の水泳実習は毎回嫌々やっていました。そして、今年の水泳実習もやりたくありませんでした。東海大学のプールはとて深くて、僕は全く足がつかせませんでした。初めはまったく泳げず、早く終わってほしいと思っていました。しかし、東海大学の先生がとてわかりやすく教えてくださって、だんだん水に慣れ、泳げるようになってきました。そして、プールの端から端までなんとか泳げるようになりました。僕は今回の水泳実習で初めて水泳が楽しいと思いました。次回の水泳実習が楽しみです。

服部 渚沙

1年A組 横浜市立神大寺小学校出身

当日は雨でしたが、心は晴々としていました。なぜなら、私の大好きな水泳が出来るからです。まずは大学見学。トレーニングルームが印象的でした。色々な器械があり、将来ここでトレーニングをしてみたいと思いました。また、東海大学創設者の松前重義先生についても知ることができました。

水泳実習で驚いたことは、プールが大きくてきれいなこと、深いこと、そしてプールが2つあることです。東海大学の先生や水泳部の大学生に指導していただきました。私たちのペースで練習を組んで下さったので楽しく泳げました。最後のリレーでは、友達を応援すること、そして力を発揮することができました。とても楽しく貴重な体験ができました。



よっ泳ぐぞ〜!



冷たくて気持ちいい!



大学の図書館は驚くほどたくさん本がある



陸上の末續選手もトレーニングしている

お知らせ

第6回体育祭

9月25日(火)
本校総合グラウンドにて
9:00開会式

- 雨天の場合について
9月25日(火)が雨天の場合は10月1日(月)が体育祭、9月25日(火)は振替休日です
- 実施かどうかの最終的な判断は下記の
本校ホームページで確認しましょう。
<http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/hp/keitai.htm>
- 運動靴を忘れずに持参しましょう。
- 保護者席を設けてお待ちしております。



最寄駅: JR高崎線さいたま新都心
 ●品川駅からJR線経由で約45分
 ●泉岳寺駅から都営浅草・JR線経由で約53分
 ●白金高輪駅から東京メトロ南北線経由で約56分
 ※さいたま新都心駅からグラウンドまでは徒歩14分です。

行事予定

September 9月

October 10月

- 1日(土) 後援会委員総会
- 3日(月) 避難訓練・朝礼後短縮授業
- 4日(火) 学園基礎学力総合試験(高3)
外部実力試験(高1、高2、中1)
- 6日(木) 中学校巡回、生徒自宅学習日(高校)、水泳実習(中1)
- 12日(水) 専門医によるカウンセリング
- 13日(木) 校医相談日
- 14日(金) 期末試験(高校、~20日)
- 17日(月) 敬老の日
- 18日(火) 期末試験(中等部、~20日)
- 21日(金) 採点日、生徒休業日(高校)
写生大会(中1、雨天時授業)
- 23日(日) 秋分の日
FEST出発(~3月23日)
- 24日(月) 振替休日
- 25日(火) 第6回体育祭(雨天時振替休日)
- 26日(水) 答案返却
- 28日(金) 成績不振者指導
- 29日(土) 保護者会(全学年)
「家庭通知表」を配布いたします。
上履きをご持参いただきますようお願いいたします。

- 1日(月) 体育祭予備日1(9/25体育祭実施の場合、振替休日)
- 2日(火) 後期始業式、後期授業開始
中学校教員学校説明会
- 3日(水) 建学祭開祭式(7限目)、塾教員学校説明会
- 4日(木) 建学祭準備、校医相談日
- 5日(金) 建学祭準備
- 6日(土) 第43回建学祭(~7日)
- 8日(月) 体育の日
- 9日(火) 建学祭閉祭式
- 10日(水) 体育祭予備日2
- 11日(木) 学年集会(高3)、保護者面談(高2、~11月22日)
体育移動授業(~11月22日)
- 13日(土) 英検(8:30~11:00)
- 14日(日) 受験生・保護者学校説明見学会(高校、10:00)
- 17日(水) 専門医によるカウンセリング
- 18日(木) 東海大学進学説明会(高1、1時限目)
- 19日(金) 教育実習(~11月9日)
- 20日(土) スポーツ大会(高2、アリーナ)
- 25日(木) 学年集会(高1、中1)
- 26日(金) 理科モデル校研究公開授業・SSH報告会
- 27日(土) 中等部学校説明見学会

研修旅行(2年)の様子



編集後記

「天災は忘れた頃にやってくる」これを物理学者、寺田寅彦の言葉と思い違いをして、9月1日の関東大震災の日になみ、世に紹介したのは弟子の中谷宇吉郎とされる。それはともかく、近頃の天災は「忘れた頃」どころか、傷あとも癒えぬ間に次つぎとおそいかかってくる。牙をむく大自然の猛威を目の当たりにすると、あらためて「人間は一本の葦にすぎない」というパスカルの言葉が思い起こされる。しかし天災のすべてが自然だけによるものといえるだろうか？最近「考える葦」が減ってきているようにも思えるのだが…。(か)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>